

【 2023 年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価 】

聖隷こども園こうのとり東

目的：浜松磐田地区の聖隷こども園・保育園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

【保育・教育理念】

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

コメント

職員一人ひとりが、子どもに対して温かな関りを意識していることが伝わる。
各年齢の発達や興味に合わせた保育活動を考えて環境設定していることが分かるが、保育者が決めた「コーナー」の中で、子どもが遊びを選んでいることに気づいたり、今後どのように子どもの主体的な活動を保障していくかを園全体で考えていくことができる、より良くなると感じる。
地域とのつながりを大事にし、地域の中で必要とされている園であることを感じた。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

コメント

基本的な人権を守り、保育がなされている。
細かい部分では、食事の仕方や遊びのコーナーの設定の仕方では子どもの待ち時間が長くなっていたり、子どもの主体性を意識した取り組みのつもりが逆に制限をしている現状を作り出している可能性があると感じた。ただ、その課題に職員が気づいており、日々話し合いを設けていることで、今後改善されていくことが期待される。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

コメント

適切に管理されている。

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

コメント

保護者からのご意見をどのように園内の職員で周知して、どのように受け止め、改善したり保護者に返していくか、今年度は様々なことを通して園長、主任と全職員が考えた一年となったと思われる。今後のご意見や苦情への対応を速やかに行い、園全体で周知して改善に努めていけると良いと感じる。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

コメント

状況・内容によって、会議等で周知し、嘔吐処理や感染症対策の確認も必要に応じて確認をしている。また看護師と園長で状況を確認し、適切な対応を取っている。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

コメント

状況・内容によって会議で周知している。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

コメント

修理が必要な個所等については、園長の責任の下で適切に改善されている。また今後の計画もされている。
一方で、保育室内外の環境設定については、職員主導の設定に感じられる部分もある。
(2階テラスの仕切り等)

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

コメント

玄関前や園内外に花が多く、生き物もいて明るく清潔感がある。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

コメント

各クラス、子どもの発達や興味に合わせた環境が整えられていた。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0 歳児

- ・ 神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・ 大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・ 意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1 歳児

- ・ 保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに出会う
- ・ 歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ 全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

2 歳児

- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

3 歳児

- ・ 保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをすることを喜ぶ
- ・ あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

4 歳児

- ・ 保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む
- ・ あそびを通して基本的な自然や物事の特徴を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

5 歳児

- ・一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす
- ・共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

コメント

0 歳児クラスにおいて、少人数で丁寧な関りがなされていることを感じた。子どもの泣き声もほとんどなく、職員の大きな声も飛び交っていない優しい雰囲気を感じた。一時保育の子には同じ職員が関わっていたり、子どもが安心して過ごせる保育環境を整えていることを感じた。その他のクラスも、子どもたちへの関りの優しさや温かさを感じた。活動においては、個人差が大きい中でどこにねらいをおいて、何を大事にして行っているのか、改めて考えてみると良いと感じた。

3, 4 歳児クラスでは、ランチタイムの導入をはじめたとのことで、まだ試行錯誤をしている段階であった。子どもの待ち時間が非常に長かったり、除去食対応の子への配慮等については今一度確認が必要であると感じたが、職員はそれを承知しており、どのようにしていくと良いかを考えている様子が見受けられた。子どもにとってより良い環境を整えていくために、職員同士が前向きな話をしていく雰囲気があった。

5 歳児の食事の場面では、メニューを一齐に復唱する場面や園児が顎マスクのまま食事を始めることがあったが、何を大事にしていくかを改めて確認していけると良いと感じた。

【全体を通して】

コメント

外国家庭も多く、個別に配慮をする必要のある家庭への丁寧な対応が求められ、そこに向けて園長を中心に全職員が意識をしていることが分かる。一人ひとりの職員が子どもを温かく受け止め、保育のことを一生懸命考えている雰囲気もあるため、今一度、一つひとつの事柄の根拠を確認しながら環境設定や、保育内容、その方法について見直していけると良いと感じた。

評価日 2024 年 1 月 17 日

評価者 園 名 聖隷こども園ひかりの子

役 職 聖隷こども園ひかりの子 園長

氏 名 岡田絵里子